

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

能ヶ谷西緑地だより

2024年7月1日号 292号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【7月の予定】

- ◆7月13日（土）（雨天翌日）
 - ・百合の丘草刈り
- ◆7月27日（土）（雨天翌日）
 - ・中央広場整備
 - ・納会
 - * 9:00 現地集合（9:00～11:30）
- ◆7月6日（土）（10:00～12:00）
 - ・ヤマユ連・手作りカフェ
 平和台集会所
 問合せ：伊藤（735-8623）
 どなたでも参加自由です。
 作業には汚れても良い服装でおいでください。

※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※

6月8日（土） 快晴 参加者12人

緑地の樹々はすっかり濃い緑に繁り、雲ひとつない青空が広がる。

作業は草刈りで、百合の花が点在する斜面の所と、南側斜面の方の草刈り機組とに二手に分かれる。百合は蕾はまだ出ていないの多いが、1mから2mに育っている。倒れないように竹の支柱を立てる。昨年はなかった所に生えてきたのもあり、丈夫に育って欲しい。はやく緑地の百合ヶ丘にな～れ！

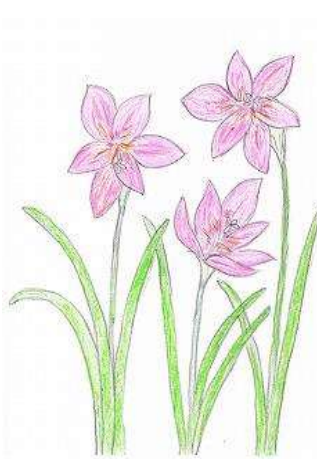
急な暑さなので小休止すると、木陰は涼しく気持ちよい。花広場の通り道、足元にうすピンクのエレガントな花が二輪。サフランモドキという

そうだ。どうしてそこに生えてきたのか不明だが増えてくれたら嬉しい。
（宮崎）



サフランモドキ
（片野さん撮影）

【緑地に咲く】サフランモドキ（サフラン擬）



タマダレ属で、地下に球根を持つ多年草です。葉は長さ15～30cm 幅7mmほどの線状で、光沢があります。夏 ピンク色のサフランに似た花を咲かせます。花茎の先に淡紅色の花を1つ付けます。オシベは6本で黄色、真っ白なメシベは1本で柱頭は3裂ですが4裂のものもあります。（長谷部）

6月22日（土） 晴 参加者10名

小田急住宅下は機械で草刈りをし、花広場や百合の丘などの大切な草や木のまわりは鎌で手刈りしました。

今日は特にサツキ救出対策。絡みついた蔓を採り、まわりの草を刈りました。ヤブカンゾウが成長して、サツキが見えないほどです。せっせと刈っていると、ブッシュの中に壊れたハチの巣を見つけました。途中で放棄した巣のようです、だれが作ったのでしょうか。

ベッコウハゴロモの幼虫はハスの瓶の水の中に落っこちてあたふたしていました。

普段気づかないけれど、生きものが豊富な緑地です。
（小川）



作りかけのハチの巣？

【緑地の樹】

？コヒガンサクラ？

プロフィール：バラ科サクラ属の落葉小高木

西緑地の「百合の丘」に、どこか寂しそうに佇む一本の樹。

高さおよそ2m、根本径2cm、ただひたすら上を目指して棒の様に伸びている。ただの一度も花を付けたことが無い。この地に移植してから7年目、今日、上部に覆い被さっていたコナラの枝を一部取り払ってやった。これで少しは日も当たり、成長を促してくれるだろう。

この樹は伝「小彼岸桜」。昨年逝去されたHさんが7年前、緑地に持参された。その時は50cmにも満たない細い小枝のようだった。ご友人からの頂き物で、「小彼岸桜」だと紹介された。けれども、誰が見ても「エノキ」にしか見えない。

比較すると、エノキよりやや葉が丸いような、茎の部分の横長点々が幼木の桜の木肌に若干似ているような、葉を揉むと微かに桜の香がする様な・・・はてさて？

Hさんが残してくれた、緑地での心待ち（かつ、謎）の一つだ。

来年か、再来年か、いつか花が咲いた時、その答えは明らかになる。だから今はまだ楽しみにして待つことにしよう。

（かつた）



謎の木の葉
（勝田さん撮影）



謎の木の幹
（勝田さん撮影）

緑地の虫



ベッコウハゴロモ成虫



ベッコウハゴロモの幼虫

- ◆ 緑地内は自然緑地として保全をしています。怪我しないよう十分に気をつけて楽しみましょう。
- ◆ ご意見がありましたらnishiryokuchi@gmail.com まで
「緑地だより」編集：小川

「能ヶ谷西緑地・樹の会」のHP（毎月末に更新）
<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>
配信希望の方は、nishiryokuchi@gmail.com まで

【緑地を楽しむ本】

シロツメクサはともだち
鈴木 純/著
ブロンズ新社



「いつもの道を歩いていた
ら、だれかによばれた
ような気がして」・・・
「おーい」とよんでいた
のはシロツメクサでした。
「なーんだ、シロツメク
サか」となります。

が・・・こんなにシロ
ツメクサをジックリと見
つめたことはなかった

なー、となることうけあいです。

小さな花のかたまりとなっている、あの
まーるくて白い「花」を分解。20～100
個の小さな花のかたまりで、さらに茶色くし

おれたものを分解すると、中からはマメのサヤ
が出てきます。マメ科だったのですね。

茶色になった「花」は、かたまりのまま、ま
るごと落っこちてそこから葉っぱが出てくると
か。

今度見つけたら「なーんだ」ではなくなりま
す。

(遠藤)

【やまゆ連・手作りカフェー】

お手玉作り(2)

6月1日(土) 10:00～12:00 平和台集会所

今年の手作りテーマ、「昔遊び」のひとつ
で前月より挑戦しているお手玉作りに取り組
みました。長方形の布四枚を接ぎ合わせるパ
ターンです。他の方は前回で既に完成されて、
2つ目、3つ目を制作。

子どもの頃、母が作ってくれたお手玉は確
か俵型でした。が、今回は二種類の布をパッ
チワーク風に縫い合わせ、とてもオシャレな
仕上がりになりました。昔のお手玉の中味は
数珠玉です。

お手玉作りのために水辺の道端で、せっせ
と数珠玉採集に励んだものです。沢山採れて、
ネックレスやブレスレットも作りました。

小学校低学年頃の懐かしい思い出が、今回
のお手玉作りで久々に蘇りました。昔はどこ
にでもあった数珠玉ですが、私がお後娘の
為に作ったお手玉の中味は、手芸用ビーズと
かアズキです。

数珠玉は今や貴重品となり、そんなお宝を
お仲間の方から分けて頂き、良き手触りのお
手玉が完成しました。

宿題の2つ目、3つ目はどんな色合いと柄を
組み合わせようかと楽しく悩んでいます。

(藤井)

